

学部 / 人間科学領域 / 社会の理解 科目コード：110202 社会福祉論 Social Welfare					
担当教員	三部 倫子				
実務経験					
開講年次	1年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	15		
Keywords	「社会福祉」「地域福祉」				
学習目的・目標	日本社会では急速に進む少子・高齢化に伴って、10年前には想像もできなかったさまざまな問題が生じてきている。それらの問題に適切に対処していくためには医療保健分野での知識だけではなく福祉も含めた総合的な視点が求められている。将来、看護師や保健師等として病院や地域で活動する際に総合的な視点をもってユーザーに対処できるよう、各分野での福祉に関する知識を身につけ、考えることができることを目標としている。 ＜目標＞ ① 社会保障の基本的仕組みを理解する。 ② 医療保健分野を超えた福祉を理解する。 ③ 各福祉の現場を知る。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	社会保障の見取り図				
2	生活保護と社会福祉制度				
3	児童福祉				
4	子育て支援の実際				
5	高齢者福祉—介護保険・年金				
6	高齢者支援の実際				
7	LGBTと医療・福祉				
8	まとめ				
教科書	棕野美智子・田中耕太郎2019『はじめての社会保障——福祉を学ぶ人へ 16版』有斐閣 QWRC作成2016「LGBTと医療・福祉（改訂版）」（ネットでPDFダウンロード可能）				
参考図書等					
評価指標	試験50％、レポート40％、出席状況・態度10％で評価する。				
関連科目					
教員から学生へのメッセージ	教科書でカバーできない部分は、適宜資料を配付する。				